

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅲ		演習	井上 直樹	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
2年生の前期後半に行われる観察実習を見据えて、作業療法士に要求される①論理的思考を行うこと②正確な記録を行うこと③記録内容から考察すること④思考内容を文章化すること⑤姿勢・動作分析を行えるようにすることの5点が可能となることを目指す。具体的には論理的思考と言語化を行う課題を反復して行った後に、対象者の姿勢や動作を観察し記録する。また、観察した現象がなぜ起こっているのかについて作業療法の視点から記録と分析を行うことで臨床思考過程の一部を学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 医療人・社会人として望ましい考え方・態度をとる事ができる。 2. 問題（課題）に直面した際に適切な解決方法が選択できる。 3. 観察・経験した内容について説明ができる。 4. 学習した過程・内容を他者に具体的に表現できる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション/目標シートについて			
2	ロジカルシンキングとラテラルシンキング			
3	ロジカルシンキングと因果関係図			
4	因果関係図の文章化			
5	思考内容を他者にわかりやすく伝える技術			
6	姿勢分析（臥位）			
7	姿勢分析（座位）			
8	姿勢分析（立位）			
9	動作分析（起立動作）①			
10	動作分析（起立動作）②			
11	動作分析（起立動作）③			
12	精神障害分野の観察・評価ポイント			
13	精神障害分野の観察・評価ポイント			
14	精神障害分野の観察・評価ポイント			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	60%	課題の内容で評価を行う。		
小テスト				
平常点				
その他	40%	ポートフォリオ面接にて評価を行う。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				
授業の予定は、前後変更する可能性がある。変更の場合は随時通知する。				